

## 令和3年7月 発地別延べ宿泊者数割合

### 【国内】

(単位：人泊、%)

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和3年7月(速報値)	53,388	78,561	34,360	4,245	12,644	15,899	5,805	26,485	1,499	232,886
令和2年7月(速報値)	44,307	62,898	30,607	3,309	8,918	11,687	5,219	17,220	1,467	185,632
<b>前年同月比</b>	<b>120.5</b>	<b>124.9</b>	<b>112.3</b>	<b>128.3</b>	<b>141.8</b>	<b>136.0</b>	<b>111.2</b>	<b>153.8</b>	<b>102.2</b>	<b>125.5</b>
2019年7月(確報値)	46,014	92,584	61,446	10,407	27,406	24,909	12,462	42,355	3,442	321,025
<b>2019年同月比</b>	<b>116.0</b>	<b>84.9</b>	<b>55.9</b>	<b>40.8</b>	<b>46.1</b>	<b>63.8</b>	<b>46.6</b>	<b>62.5</b>	<b>43.6</b>	<b>72.5</b>
2018年7月(確報値)	48,391	83,642	62,670	8,549	19,824	19,179	8,932	38,235	2,729	292,151
<b>2018年同月比</b>	<b>110.3</b>	<b>93.9</b>	<b>54.8</b>	<b>49.7</b>	<b>63.8</b>	<b>82.9</b>	<b>65.0</b>	<b>69.3</b>	<b>54.9</b>	<b>79.7</b>
令和3年6月(速報値)	27,406	45,329	21,788	1,808	5,779	8,837	3,427	17,478	897	132,749
<b>前月比</b>	<b>194.8</b>	<b>173.3</b>	<b>157.7</b>	<b>234.8</b>	<b>218.8</b>	<b>179.9</b>	<b>169.4</b>	<b>151.5</b>	<b>167.1</b>	<b>175.4</b>

### 【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和3年7月(速報値)	*	*	*	*	*	*	*	2,752
令和2年7月(速報値)	62	36	0	2	28	506	142	776
<b>前年同月比</b>	*	*	*	*	*	*	*	<b>354.6</b>
2019年7月(確報値)	20,058	8,487	11,468	13,548	750	1,575	2,114	58,000
<b>2019年同月比</b>	*	*	*	*	*	*	*	<b>4.7</b>
2018年7月(確報値)	24,824	7,246	9,947	13,009	429	939	2,111	58,505
<b>2018年同月比</b>	*	*	*	*	*	*	*	<b>4.7</b>
令和3年6月(速報値)	*	*	*	*	*	*	*	600
<b>前月比</b>	*	*	*	*	*	*	*	<b>458.7</b>

\* 令和2年、令和3年発地別宿泊者数は、サンプル数が過小のため表示しない

### 【全体】

	合計
令和3年7月(速報値)	235,638
令和2年7月(速報値)	186,408
<b>前年同月比</b>	<b>126.4</b>
2019年7月(確報値)	379,025
<b>2019年同月比</b>	<b>62.2</b>
2018年7月(確報値)	350,656
<b>2018年同月比</b>	<b>67.2</b>
令和3年6月(速報値)	133,349
<b>前月比</b>	<b>176.7</b>

①R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。  
この変更に伴い、R2年、2019年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。  
※発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

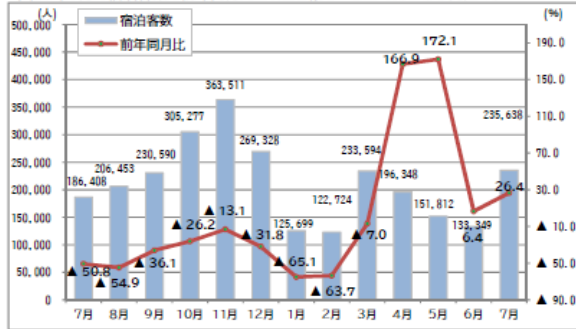
#### <傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊者数は前年同月比125.5%。前々年同月比は72.5%、前前々年同月比は79.7%と、コロナ禍以前の水準と比べても7~8割程度に回復。
- ・国内の延べ宿泊者数の前月比は175.4%。6月20日に沖縄を除き全国で緊急事態宣言が解除され、感染者数も減少したことから宿泊旅行の予約が増加したと見られる。7月に入り首都圏で再び感染者数が増加、東京に4回目の緊急事態宣言が発令されるも、首都圏の出入は前回の宣言時より大幅に増加。再三の宣言発令等から人々の自粛疲れが見られ、宿泊客も増加している。県内においても、6月10日にステージ2へ引き下げ、6月14日から「新しいおおいの旅割」が再開となり旅行機運が上昇。7月の夏休みに向けた宿泊予約が増加したと見られる。
- ・国外の延べ宿泊者数は、前月比458.7%、前年同月比354.6%。東京オリンピック関連の滞在者等の影響もあり増加しているが、前々年、前前々年同月比は共に4.7%とコロナ禍前と比べると依然として低水準が続く。
- ・全体の延べ宿泊者数は前年同月比126.4%。コロナ禍前の前々年同月比は62.2%、前前々年同月比は67.2%。

令和3年7月の宿泊客等の動向  
(令和2年7月～12月速報、令和3年1月～7月速速報)

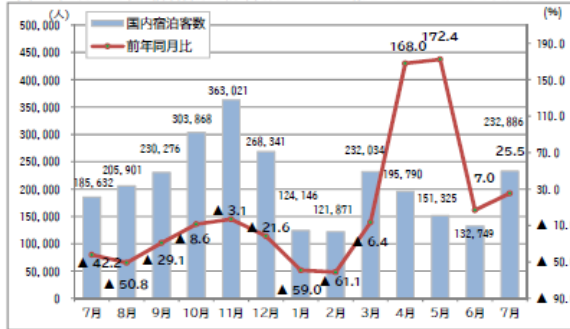
(1) 宿泊客の動向

令和3年7月の宿泊客数の前年同月比は、速速報で+26.4%となる見込み。



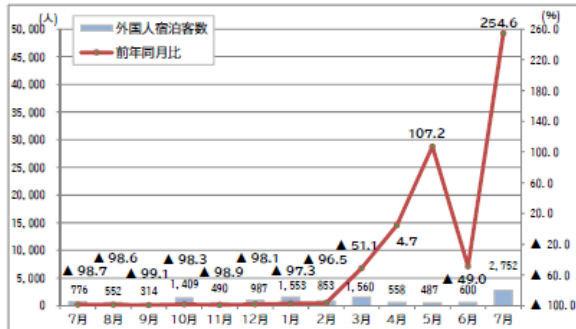
(1)① 日本人宿泊客の動向

令和3年7月の日本人宿泊客数の前年同月比は、速速報で+25.5%となる見込み。



(1)② 外国人宿泊客の動向

令和3年7月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速速報で+254.6%となる見込み。

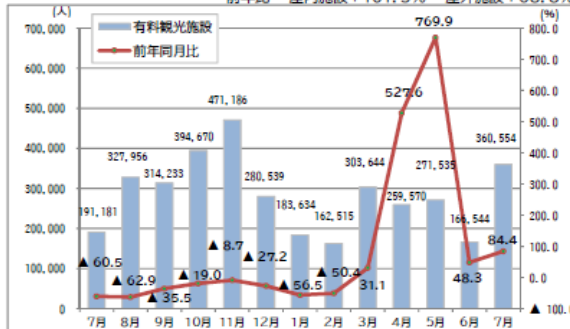


※R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。この変更に伴い、R2年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。

(2) 有料観光施設(入場客)の動向

令和3年7月の有料観光施設(入場客)の前年同月比は、速速報で+84.4%となる見込み。

(調査対象施設29施設)  
前年比 屋内施設+101.5% 屋外施設+68.8%



※観光施設の対前年比は、休業業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・日本人宿泊客は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が解除された昨年6月から徐々に回復、GoToトラベルキャンペーン実施に伴い増加するも、秋頃からの感染者数の増加、12月にGoToトラベルの一時停止や1月には一部地域に緊急事態宣言が発令されたことなどにより再び減少に転じる。その後、3月に緊急事態宣言の全面解除や、県民向け「新しいおおいた旅割」等の影響で増加したが、4月に入り全国各地で感染者数が増加、全国各地で「まん延防止等重点措置」の適用や緊急事態宣言が発令され、5月も更に拡大・延長し、6月まで宣言は延長。6月20日に9都道府県にて緊急事態宣言が解除されたのち、7月には増加に転じる。
- ・有料観光施設の動向については前年同月比184.4%と増加。全国的な緊急事態宣言の解除や県民向け「新しいおおいた旅割」再開などの影響で前月比も増加に転じる。
- ・外国人宿泊客は、東京オリンピック関連の滞在者等の影響により大幅に増加しているが、入国制限は継続されているため、観光目的での宿泊客数は依然として低水準が続く。
- ・全体においては、インバウンドの微増はみられるものの、観光目的の旅行者としては国内宿泊者の動きがそのまま反映されたかたち。